

# わたしのすきな絵本

## 「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(11月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



## 『トットちゃんの 15つぶの だいず』

黒柳徹子 原案 / 柏葉幸子 文 / 松本春野 絵 / 講談社

対象：読んであげるなら5歳位から 一人で読むなら小学校低学年から  
すべての漢字にふりがなつき



内容のご紹介

今年も残すところ1カ月となりました。一年を振り返ると早いものです。

今月のご紹介する絵本は、国民的ファンの多い黒柳徹子さんの原案の作品です。

絵は“おばあちゃんのしんぶん”や“バスがきましたよ”の松本春野さんです。

トットちゃんが小学校2年生の時に体験した82年前の日米の戦争です。戦争によって普段の家庭生活や社会が一変してしまいます。この時、トットちゃんの一日の食事は“15粒のだいず”です。現在、私達の時代では、体験できないことを紹介しています。

この絵本から平和を創る努力と、平和の尊さを知ってほしいと思います。毎日の報道で、私たち誰もが争いの悲惨さを考えています。

平和な社会を創るというのは、簡単ではないと思います。子ども達に読んでほしい必読の絵本です。

<とうとう、トットちゃんの一日の食べものは、だいずが15つぶだけになってしまいました。>

『窓ぎわのトットちゃん』では描かれなかった、トットちゃんのもうひとつのお話を絵本にしました。

トットちゃんの小学校時代は、日本が戦争をはじめた時代でもありました。

だいすきなパパ。トモエ学園の楽しいお弁当の時間。あまい、あまいキャラメル。<家族そろって、安心して、うれしかった毎日>から、いろいろなものがなくなっていきます。

そして、ある日、とうとう一日の食べものが、炒った大豆15つぶだけになってしまいました。トットちゃんは、15つぶをいつ食べるか、悩みに悩んで……。

長年ユニセフ親善大使として活動されている黒柳徹子さんの原点ともなる、トットちゃんの等身大の戦争体験です。

紹介文 / 講談社一部抜粋 (矢祭もったいない図書)